

今月の御教え

世界中、天が下の者は、みな天地金乃神の子である。天地金乃神のおかげは世界にいっぱい満ちている。そのおかげがなければ空気がないのと同じで、人間は一時も生きてはいられない。

……「天地は語る」第十八条……

解説 「私達人間は皆、この天地宇宙を司る天地金乃神様のお蔭を頂いている

からこそ生きていけるのであり、そのお蔭は世界中に満ちている。」との金光大神様の御理解であります。

その事を私達が良く理解できるように、「空気」を例にとって、御教え下さっているのです。即ち「空気」は私達が生きていく上に当然なくてはならぬものでありますが、日々生活してその存在に気付くことはほとんどありません。同じように、日の光、熱、空気、水など、この世の全てに遍く充ち亘っている天地の親神様のお恵みに、私達人間は、なかなか気付くことができません。しかしそのお蔭無くしては一日も生きれ得ない私達で

ありますから、人間すべてを「神の子」と仰せられ、この世に無限に遍く御蔭を下さっている天地の親神様の御心に日々お礼と感謝の心を忘れないようにしたいものです。